



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福
コード番号 8200 URL <https://www.ringerhut.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広 TEL 03-5745-8611
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	19,631	9.2	125	—	144	692.6	△36	—
2023年2月期第2四半期	17,981	10.8	△552	—	18	△97.3	△181	—

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 67百万円 (—%) 2023年2月期第2四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	△1.39	—
2023年2月期第2四半期	△7.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	28,460	11,935	41.9	460.71
2023年2月期	28,730	11,866	41.3	458.05

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 11,935百万円 2023年2月期 11,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	5.00	—	—	5.00
2024年2月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	8.7	1,100	—	900	241.2	400	—	15.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	26,067,972株	2023年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	160,383株	2023年2月期	161,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	25,906,993株	2023年2月期2Q	25,903,541株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】「経営成績に関する説明」及び「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、経済活動の正常化を背景に個人消費の増加や、水際対策の緩和を受けたインバウンド需要の回復など、景気は緩やかに回復してきております。一方で、海外においてはロシア・ウクライナ情勢の長期化や日米の金利格差による円安の影響など、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、消費者の購買活動はコロナ禍以前の状態に戻りつつあるものの、継続する物価上昇による消費の減速懸念、原材料費や光熱費の高騰、長期化する採用難など事業を取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは国産野菜の使用など、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組むとともに、『全員参加で、永続する企業体質をつくろう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。その具体的な施策として、食材の鮮度向上や在庫圧縮、より効率的な生産体制構築に向けて、店舗で使用する食材の履歴を生産者まで遡れる食材トレーサビリティの確立への取り組みを継続しております。さらに、地球温暖化対策として、店舗での電力・動力・ガスの使用料前年比3%削減を目標として、温室効果ガスCO₂の削減に向けた省エネ活動（リンガーチャレンジ2030）を実施しております。

また、2021年より開始した当社の冷凍商品を購入していただける冷凍商品自動販売機は、当第2四半期連結累計期間末現在、128か所137台まで拡大いたしました。

出退店につきましては、2店舗を出店し13店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内644店舗、海外9店舗の計653店舗（うちフランチャイズ店舗164店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億31百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は1億25百万円（前年同期営業損失5億52百万円）、経常利益は1億44百万円（前年同期比692.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億81百万円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

（長崎ちゃんぽん事業）

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、季節商品として健康志向ながらも食べ応えのある商品へと進化した「梅肉と鶏むね肉の冷やしませめん」を販売いたしました。また、彩り豊かな国産野菜8種類と食物繊維を豊富に含んだ全粒粉入りの冷やし専用の麺を使用した「冷やしちゃんぽん麻婆茄子」、スープに濃厚ゴマペーストと練りゴマを使用した「からまるちゃんぽん」を販売しております。8月には「リンガーハットの夏得袋」を販売いたしました。

出退店につきましては、1店舗を出店し9店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で562店舗、海外で7店舗、合計569店舗（うちフランチャイズ店舗147店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は111.3%となり、売上高は156億59百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は31百万円（前年同期営業損失5億72百万円）となりました。

（とんかつ事業）

「とんかつ濱かつ」では、季節商品として夏の定番「梅しそ巻」シリーズを販売しております。8月には昨年もお好評いただいた「濱かつの夏の福袋」を数量限定で販売いたしました。また、九州エリアでは5年ぶりとなる新店「濱かつイオンモール福岡店」を出店いたしました。

出退店につきましては、1店舗を出店し4店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は国内で82店舗*、海外で2店舗、合計84店舗（うちフランチャイズ店舗17店舗）となりました。（*和食業態の長崎卓袱浜勝を含む）

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は106.9%となり、売上高は38億88百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1億37百万円（前年同期比3,386.9%増）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は8億11百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益73百万円(同4.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億70百万円減少し、284億60百万円となりました。これは主に退店による有形固定資産の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少し、165億24百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、119億35百万円となりました。これは主にその他包括利益の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月14日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,373,229	2,187,168
売掛金	1,267,982	1,292,990
商品及び製品	141,203	190,944
仕掛品	10,574	12,979
原材料及び貯蔵品	342,705	347,613
前払費用	255,712	300,141
未収入金	760,641	795,846
その他	190,574	209,007
貸倒引当金	△76,483	△76,571
流動資産合計	5,266,141	5,260,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,579,375	9,347,184
機械装置及び運搬具(純額)	1,735,101	1,637,586
土地	5,800,482	5,800,482
リース資産(純額)	67,249	56,400
建設仮勘定	112,981	69,249
その他(純額)	906,744	992,060
有形固定資産合計	18,201,933	17,902,964
無形固定資産		
	469,646	440,915
投資その他の資産		
投資有価証券	717,704	816,635
繰延税金資産	522,801	509,573
退職給付に係る資産	26,931	27,756
差入保証金	849,830	833,962
建設協力金	61,758	58,529
敷金	2,288,861	2,238,772
その他	327,136	371,149
貸倒引当金	△1,938	—
投資その他の資産合計	4,793,085	4,856,380
固定資産合計	23,464,665	23,200,259
資産合計	28,730,806	28,460,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	799,259	820,203
短期借入金	620,000	1,980,000
1年内償還予定の社債	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,882,658	2,521,762
リース債務	72,104	65,395
未払金	799,851	556,191
未払費用	1,170,706	1,328,541
未払法人税等	168,604	124,697
未払消費税等	349,597	280,697
株主優待引当金	108,284	104,264
店舗閉鎖損失引当金	5,219	—
資産除去債務	59,699	75,962
その他	577,178	663,711
流動負債合計	7,663,162	8,521,428
固定負債		
長期借入金	5,964,164	4,825,560
長期未払金	40,737	16,707
リース債務	118,732	86,613
株式給付引当金	128,395	126,061
退職給付に係る負債	1,034,869	1,103,639
長期預り保証金	325,867	307,367
資産除去債務	1,502,979	1,477,725
繰延税金負債	577	631
その他	84,784	58,686
固定負債合計	9,201,106	8,002,991
負債合計	16,864,269	16,524,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	2,193,474	2,193,474
利益剰余金	975,557	939,502
自己株式	△351,812	△349,678
株主資本合計	11,819,982	11,786,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290,180	375,397
為替換算調整勘定	△49,805	△76,695
退職給付に係る調整累計額	△193,820	△148,803
その他の包括利益累計額合計	46,554	149,898
純資産合計	11,866,537	11,935,959
負債純資産合計	28,730,806	28,460,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	17,433,543	19,019,517
売上原価	6,304,519	6,572,655
売上総利益	11,129,023	12,446,862
その他の営業収入	547,984	611,748
営業総利益	11,677,008	13,058,610
販売費及び一般管理費	12,229,398	12,932,933
営業利益又は営業損失(△)	△552,390	125,676
営業外収益		
受取利息	1,892	1,677
受取配当金	9,212	10,218
為替差益	65,911	61,437
受取補償金	—	32,158
補助金収入	624,490	550
その他	18,175	18,989
営業外収益合計	719,681	125,031
営業外費用		
支払利息	123,728	84,619
リース解約損	3,355	837
支払手数料	12,958	12,958
その他	9,046	8,026
営業外費用合計	149,090	106,442
経常利益	18,201	144,265
特別損失		
固定資産売却損	5,093	—
固定資産除却損	31,851	24,614
店舗閉鎖損失	—	2,924
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6,812	—
減損損失	29,662	62,611
特別損失合計	73,420	90,150
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△55,218	54,114
法人税等	126,218	90,169
四半期純損失(△)	△181,437	△36,054
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△181,437	△36,054

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純損失(△)	△181,437	△36,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,612	85,216
為替換算調整勘定	△14,862	△26,890
退職給付に係る調整額	△44,625	45,017
その他の包括利益合計	△44,875	103,343
四半期包括利益	△226,312	67,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△226,312	67,288

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	△55,218	54,114
減価償却費	900,121	940,700
減損損失	29,662	62,611
リース解約損	3,355	837
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,919	△4,019
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	102,053	68,621
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△6,365	△824
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	932	△5,219
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,130	△1,850
受取利息及び受取配当金	△11,104	△11,896
支払手数料	12,958	12,958
支払利息	123,728	84,619
補助金収入	△624,490	△550
受取補償金	—	△32,158
固定資産売却損益 (△は益)	5,093	—
固定資産除却損	31,851	24,614
店舗閉鎖損失	—	2,924
売上債権の増減額 (△は増加)	△245,817	△24,616
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72,130	△56,373
仕入債務の増減額 (△は減少)	206,331	17,972
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△120,489	△68,899
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△193,213	△183,699
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	312,137	199,562
長期末払金の増減額 (△は減少)	△3,472	△24,029
預り保証金の増減額 (△は減少)	△6,000	△18,500
その他	△129,763	△11,603
小計	258,372	1,025,297
利息及び配当金の受取額	10,570	11,415
利息の支払額	△130,347	△83,387
リース解約損の支払額	△3,355	△3,392
補助金の受取額	624,490	550
補償金の受取額	—	40,000
法人税等の支払額	△508,602	△124,087
法人税等の還付額	111,774	88,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,901	954,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△50,746
定期預金の払戻による収入	11,502	—
有形固定資産の取得による支出	△999,302	△851,028
有形固定資産の売却による収入	24,834	—
無形固定資産の取得による支出	△90,193	△41,114
建設協力金等の支払による支出	△57,319	△46,527
建設協力金等の回収による収入	44,872	93,455
投資有価証券の取得による支出	△1,475	△1,503
その他	△30,416	△65,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,097,498	△963,356

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,360,000
長期借入金の返済による支出	△3,451,302	△1,499,500
社債の償還による支出	△150,000	△50,000
自己株式の処分による収入	2,466	2,334
自己株式の取得による支出	△168	△200
配当金の支払額	△121,352	△1,381
借入関連手数料の支払いによる支出	△12,958	△12,958
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△48,858	△38,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,782,174	△240,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	51,048	12,623
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,465,722	△236,808
現金及び現金同等物の期首残高	7,896,571	2,373,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,430,848	2,136,421

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月23日開催の第59期定時株主総会の決議により、2023年6月30日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金2,483,095千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えております。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	14,242,607	3,663,462	75,458	17,981,528	—	17,981,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	755,091	755,091	△755,091	—
計	14,242,607	3,663,462	830,549	18,736,619	△755,091	17,981,528
セグメント利益 又は損失(△)	△572,574	3,954	77,566	△491,054	△61,336	△552,390

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,336千円には、セグメント間取引消去20,774千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△40,561千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は28,644千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は1,018千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	15,659,044	3,888,039	84,181	19,631,265	—	19,631,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	89	727,423	727,860	△727,860	—
計	15,659,392	3,888,128	811,604	20,359,126	△727,860	19,631,265
セグメント利益	31,892	137,879	73,952	243,724	△118,048	125,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,048千円には、セグメント間取引消去△49,718千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,329千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は42,648千円です。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は19,963千円です。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2024年 2月期 第2四半期	売上高 (百万円)	13,008	3,887	16,896	3,507	872	4,380	1,133	85	22,496
連結累計 期間	店舗数 (店)	422	147	569	67	17	84	—	—	653
2023年 2月期 第2四半期	売上高 (百万円)	11,617	3,869	15,486	3,312	815	4,127	1,121	76	20,810
連結累計 期間	店舗数 (店)	426	165	591	71	17	88	—	—	679
対前年比率	売上高	112.0%	100.5%	109.1%	105.9%	107.1%	106.1%	101.2%	112.8%	108.1%
	店舗数	99.1%	89.1%	96.3%	94.4%	100.0%	95.5%	—	—	96.2%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。